

白石町教育委員会点検評価報告書

[令和3年度事業]



令和4年11月

白石町教育委員会

■■■■■■■■■■ 目 次 ■■■■■■■■■■

1 点検・評価の目的及び趣旨について・・・・・・・・・・ P 1

2 点検・評価の方法について・・・・・・・・・・ P 1

3 教育委員の活動状況等・・・・・・・・・・ P3

4 令和3年度主要事業の点検・実施状況・・・・・・・・ P5

・主要事業点検・評価シート・・・・・・・・ P6

5 評価委員の意見・評価・・・・・・・・ P25

1 点検・評価の目的及び趣旨について

平成18年12月に約60年ぶりに教育基本法が改正され、これからの教育のあるべき姿及び目指すべき理念が明らかにされた。また、併せて学校教育法をはじめとする教育関連法も改正された。

また、教育委員会については、その責任体制の明確化のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正された。

ついては、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに、公表することが規定された。

本町教育委員会では、この法律の規定に基づき、令和2年度事業に係る事務事業について報告書としてまとめたところである。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（一部抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

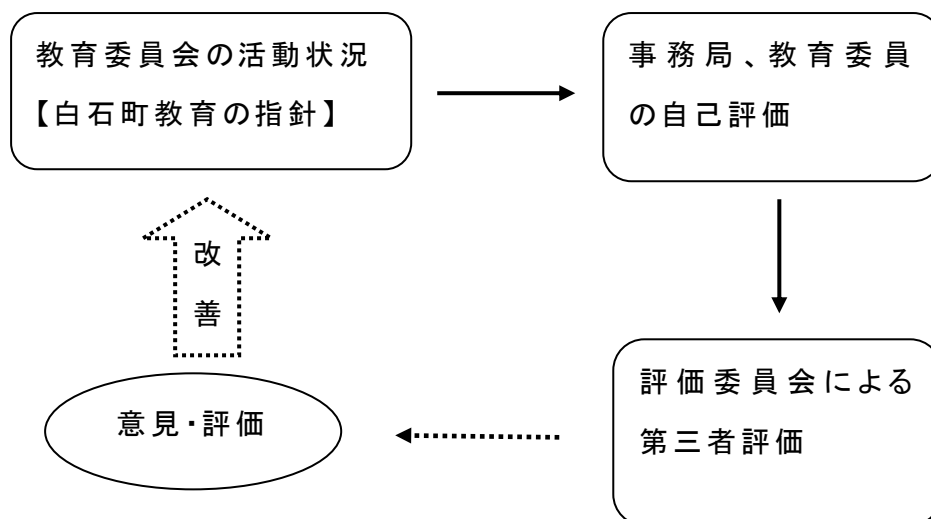
2 点検・評価の方法について

（1）点検及び評価を行う項目については、「令和3年度白石町教育の指針」における重点目標及び関連主要事業とする。

スケジュール	内 容
7月15日	各課による事務事業点検・自己評価
9月27日	評価委員会の意見聴取、報告書取りまとめ
10月14日	教育委員会へ報告書（案）提案、承認
11月18日	評価委員会へ最終報告書の提示
12月上旬	報告書を議会へ提出
12月上旬	公表（ホームページ等へ掲載）

(2) 白石町教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、白石町教育委員会評価委員会を設置し、その評価委員会による評価をもとに事業の継続的な改善を図っていくこととする。

○点検・評価のフロー図 (Plan ⇒ Do ⇒ Check ⇒ Action)



○評価委員の構成

	氏 名	所 属
委員	長 森 浩 也	日本漁船保険組合福岡県支所
委員	小 池 みどり	白石町男女共同参画みらいネットの会
委員	鶴 崎 俊 昭	元白石町職員
委員	島ノ江 佳 弘	元小学校校長
委員	平 川 千 洋	福富保育園園長

3 教育委員の活動状況等

(1) 教育委員

職 名	氏 名	備 考
教育長	北 村 喜久次	任期（R 4.2.17～R 7.2.16）
教育長職務代理者	稲 佐 英 明	任期（H31.2.17～R 3.9.30）
教育長職務代理者	松 尾 博 之	任期（R 2.2.17～R 6.2.16） ※R3.10.1 から職務代理者
委員	堤 王 宏	任期（R 4.2.17～R 8.2.16）
委員	川 崎 姿 子	任期（R 3.2.17～R 7.2.16）
委員	一ノ瀬 ひとみ	任期（R 3.10.1～R 5.2.16）

(2) 教育委員会の開催

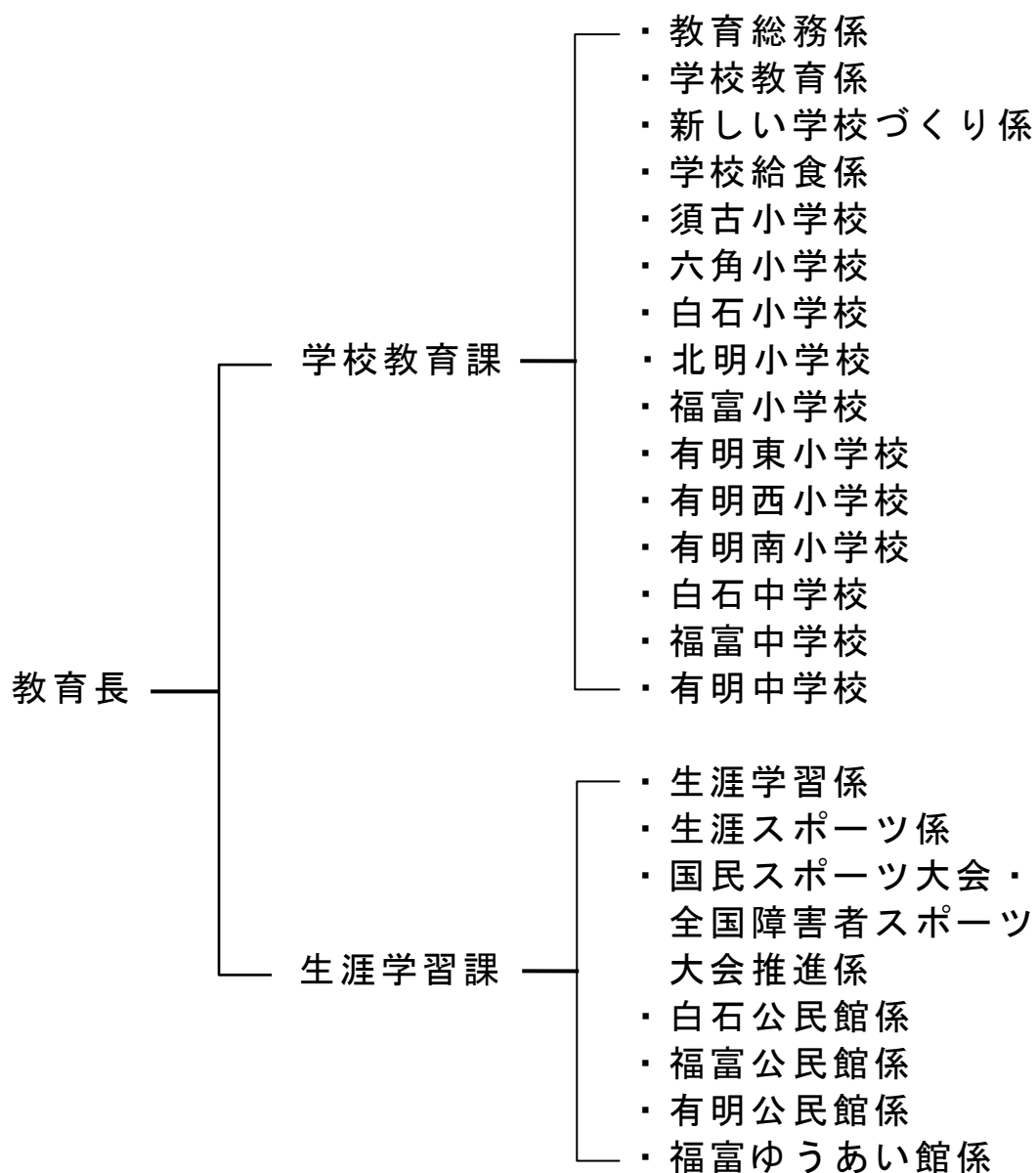
- ・年間14回の開催（定例会12回）
- ・会議への附議事項の53件、報告84件

附議事項の内容	教育の重要施策に関すること	14件
	予算編成に関すること	5件
	規則・規定等に関すること	17件
	教職員の人事に関すること	3件
	各種委員の任命に関すること	3件
	教科書の取扱に関すること	1件
	その他	10件

(3) 教育委員の活動

- ・学校訪問 11回
- ・入学式・卒業式 22回（11校）
- ・学校行事14回（運動会体育大会11校、文化発表会3校）
- ・教育委員研修、県教育委員総会等 37回
- ・文化、生涯学習、スポーツ関係行事 24回
- ・成人式 1回

(4)教育委員会の組織



(5)情報の発信

- ・広報白石への毎月掲載「シリーズ白石町の教育」「あるある文化財」「家庭教育コラム」
- ・ケーブルテレビの活用「学校行事、生涯学習課事業 PR と実績報告、ゆうあい図書館・楽習館おすすめの本紹介」「しろいし子どもっ隊」
- ・小中学校ホームページの充実
- ・図書まつり、おはなし会、工作教室等による知の拠点づくり

4 令和3年度主要事業の点検・実施状況

(1) 白石町教育の指針における重点目標の点検・実施状況

No	重点目標(主要事業点検・評価シート)	評価	ページ
確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進			
1	学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	A	P6
2	学校ICT教育推進事業	A	P7
3	外国青年語学指導助手設置事業	A	P8
4	就学等支援事業	A	P9
豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進			
5	スクールカウンセラー配置事業	A	P10
6	教育支援室事業	A	P11
7	学校給食事業	A	P12
教職員の資質・能力の向上			
8	白石町教育研究会補助事業	A	P13
生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進			
9	講座・教室の開催	A	P14
10	ゆうあい図書館教室等の開催	A	P15
青少年の健全育成			
11	家庭教育啓発事業	A	P16
12	漁村民泊体験活動事業	—	P17
生涯スポーツ・レクリエーションの振興			
13	「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進	B	P18
14	オリンピック聖火リレー開催事業	A	P19
15	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の推進	A	P20
郷土文化の保存・伝承と芸術・文化の振興			
16	須古城跡環境整備事業	A	P21
教育行政(教育委員会)に対する町民の理解促進			
17	白石町教育の明日を考える集会	A	P22
小中学校再編に関する取組			
18	新設中学校「新しい学校づくり準備委員会」の設置	A	P23
19	中学校再編に伴う施設整備	A	P24

事業名		学校教育支援員配置事業				担当部署		学校教育課 教育総務係					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成					
		財 源 内 訳		(単位:千円)				「白石町教育の指針」 重点目標との関連					
決算額		48,385		国庫		県費		地方債		その他		一般財源	
(最終予算額)		(50,462)										48,385 ① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進	
内 容		1 事業概要 学校現場では、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障がい等で特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。 そこで、学校現場で児童生徒への個別対応等に適した教育支援員を配置し、早期の状況把握と適切な支援を図る。また、児童生徒へのきめ細やかな支援と事務支援を行う支援員の配置により教職員の負担軽減を図るもの。 《補助の内容》 ・特別支援学級の児童生徒への対応補助 ・不登校及び別室登校である児童生徒への対応補助 ・障がい等により個別対応が必要な児童生徒への対応 ・授業や補充学習の指導補助 ・学校行事における指導及び準備運営補助 ・学校事務補助 ・その他、事業の趣旨に照らし校長が必要と認める校務・指導補助 2 事業実績 支援員賞金 小学校(40人) 報酬 29,794,825円(28,771時間)期末手当 4,742,070円 通勤費用弁償 1,611,000円 計 36,147,895円 中学校(12人) 報酬 9,975,600円(9,600時間)期末手当 1,919,215円 通勤費用弁償 341,923円 計 12,236,738円 延べ47人 1時間当たり1,021円～1,040円 計 48,384,633円											
評価		1 事業効果 各学校に教育支援員を配置し、児童生徒のそれぞれの状況に応じた適切な支援を行うことにより、児童生徒へのきめ細やかな指導・支援が図られた。 2 課題 学校教育支援員の任用に当たり、学校が運用しやすいような配置を可能としていることから、報酬、期末手当、通勤費用弁償等個々での管理・計算が必要となり、経理を管理する学校教育課の負担がかなり大きくなっている。 ※各校に時間を配分し、それぞれ子ども達に対応できるよう各学校教育支援員の配置計画がなされていたが、各種休暇を付与させるため 必ずしも配分時間での活用が出来なくなった。 判定 A A:十分達成した B:ある程度達成 C:達成が不十分である D:達成には程遠い											

事業名	学校ICT教育推進事業				担当部署	学校教育課 学校教育係																																																							
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成																																																								
決算額 (最終予算額)		財 源 内 訳 (単位:千円)		「白石町教育の指針」 重点目標との関連																																																									
		70,079	国庫	地方債	その他	一般財源																																																							
(77,825)					70,000	79																																																							
① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進																																																													
1 事業概要 (1)目的 令和2年度にGIGAスクール構想において1人1台整備・配置したノート型パソコン(Chromebook)の有効活用を図り、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。また、教員の授業改善、校務の効率化を図る。																																																													
(2)事業内容 ・ICT支援業務委託事業 → 11小中学校に6名のICT支援員を配置し、授業支援等の実施及び障害発生時の復旧対応の支援を行う。 ・小中学校校務用PC等更新事業(更新作業委託/機器リース料) → 小中学校の教職員利用の校務用PCの一斉更新。 ・小中学校電子黒板等更新事業(更新作業委託/機器リース料) → 小中学校配置の電子黒板の一斉更新。																																																													
2 事業実績																																																													
<table><tr><th>節</th><th>決算額</th><th>細節</th><th>内容説明</th><th></th></tr><tr><td>10.需用費</td><td>315,018 円</td><td>消耗品費</td><td>学校内ICT周辺機器等の更新 他</td><td>98,318 円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>修繕料</td><td>学校内ICT周辺機器等の修繕 他</td><td>216,700 円</td></tr><tr><td>11.役務費</td><td>5,421,360 円</td><td>通信運搬費</td><td>ChromebookLTEモデルモバイル通信料(690台)他</td><td>5,421,360 円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>ICT支援業務委託料</td><td>38,280,000 円</td></tr><tr><td>12.委託料</td><td>50,464,667 円</td><td>その他委託料</td><td>小中学校校務用PC等更新作業業務委託</td><td>7,359,000 円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>小中学校電子黒板等更新作業業務委託</td><td>4,079,867 円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>ICT周辺機器廃棄業務委託料 他</td><td>745,800 円</td></tr><tr><td>13.使用料及び賃借料</td><td>13,877,916 円</td><td>その他使用料</td><td>校務用PC、電子黒板等、その他ICT機器リース料</td><td>13,814,411 円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>授業目的公衆送信補償金</td><td>63,505 円</td></tr><tr><td>計</td><td>70,078,961 円</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							節	決算額	細節	内容説明		10.需用費	315,018 円	消耗品費	学校内ICT周辺機器等の更新 他	98,318 円			修繕料	学校内ICT周辺機器等の修繕 他	216,700 円	11.役務費	5,421,360 円	通信運搬費	ChromebookLTEモデルモバイル通信料(690台)他	5,421,360 円				ICT支援業務委託料	38,280,000 円	12.委託料	50,464,667 円	その他委託料	小中学校校務用PC等更新作業業務委託	7,359,000 円				小中学校電子黒板等更新作業業務委託	4,079,867 円				ICT周辺機器廃棄業務委託料 他	745,800 円	13.使用料及び賃借料	13,877,916 円	その他使用料	校務用PC、電子黒板等、その他ICT機器リース料	13,814,411 円				授業目的公衆送信補償金	63,505 円	計	70,078,961 円			
節	決算額	細節	内容説明																																																										
10.需用費	315,018 円	消耗品費	学校内ICT周辺機器等の更新 他	98,318 円																																																									
		修繕料	学校内ICT周辺機器等の修繕 他	216,700 円																																																									
11.役務費	5,421,360 円	通信運搬費	ChromebookLTEモデルモバイル通信料(690台)他	5,421,360 円																																																									
			ICT支援業務委託料	38,280,000 円																																																									
12.委託料	50,464,667 円	その他委託料	小中学校校務用PC等更新作業業務委託	7,359,000 円																																																									
			小中学校電子黒板等更新作業業務委託	4,079,867 円																																																									
			ICT周辺機器廃棄業務委託料 他	745,800 円																																																									
13.使用料及び賃借料	13,877,916 円	その他使用料	校務用PC、電子黒板等、その他ICT機器リース料	13,814,411 円																																																									
			授業目的公衆送信補償金	63,505 円																																																									
計	70,078,961 円																																																												
1 事業効果 ICT支援員の配置により、教職員の新たな学習指導環境への対応の一助とすることができた。また各種ICT機器の更新により、教職員の授業環境の改善及び校務の効率化につなげることができた。																																																													
2 課題 ICT支援員を配置したことにより、教師の負担軽減につながっているが、スキルアップへ具体的な取り組み方法の検討が必要である。1人1台PC(Chromebook)にあっては通信費・修繕費等ランニングコストの増大が課題である。																																																													
評価	判定					A																																																							

外国青年語学指導助手設置事業				担当部署		学校教育課 教育総務係	
事業名		基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		財 源 内 訳		(単位:千円)		「白石町教育の指針」 重点目標との関連	
決算額		13,171		国庫		県費	
(最終予算額)		(16,337)				地方債	
						その他	
						一般財源	
						13,171	
						① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進	
1 事業概要							
英語をもっと身近に、親しみを持つことができる環境を子どもたちに与えることを目的とし、中学校を中心に町内の小学校、保育園、幼稚園で、子ども達のコミュニケーション力を高めるため3人の配置による活動を行う。							
2 事業実績							
中学校における外国語授業の補助など各クラス週1回の英語の授業等に参加し、小学校では外国語授業及び外国語活動の指導支援に取り組む。また、町内の保育園、幼稚園を訪問し、ゲーム等を通して園児との交流を図る。町内のさまざまなイベントに、積極的に参加し英会話を広めながら交流を図った。3人とも日本語が堪能であるため、学校側との打合せがスムーズにできた。また、教育支援室コンフォートスペース「あい」にも出向いていき入室生と触れ合うことで新しい風を吹き込むことが出来た。							
内 容							
報酬 11,700,000 円							
職員手当 2,276,247 円							
旅費 100,800 円							
期末手当 0 円							
通勤費用弁償 0 円							
特別旅費 0 円							
消耗品費 32,658 円							
燃料費 20,900 円							
修繕費 0							
手数料(ALT住宅クリーニング) 2,040,225 円							
社会保険料等 円							
需用費 16,170,830 円							
役務費							
負担金							
計							

事業名		就学等支援事業				担当部署	学校教育課 学校教育係
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
決算額 (最終予算額)		(531 578)			(単位:千円)		「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		財 源 内 訳	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							531
① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進							

内 容	1 事業概要 児童生徒の障がいの状態や特性等の客観的な情報に基づき、地域・社会の実情に応じて適正な就学が図られるよう指導・助言を行う。																																	
	2 事業実績																																	
	<table><tr><td>07.報償費</td><td>その他報償費</td><td>就学時健康診断(医師・歯科校医・歯科衛生士)報償費(16人)</td><td>276,240円</td></tr><tr><td>08.旅費</td><td>普通旅費</td><td>教育支援委員会・教育相談会報酬(4人)</td><td>160,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">10.需用費</td><td>消耗品費</td><td>教育支援委員会委員及び就学相談会相談員旅費</td><td>35,880円</td></tr><tr><td></td><td>就学事務消耗品費・色覚検査費購入</td><td>41,918円</td></tr><tr><td></td><td>印刷製本費</td><td>入学通知、健康診断案内通知等</td><td>15,972円</td></tr><tr><td></td><td>合 計</td><td></td><td>530,010円</td></tr></table>	07.報償費	その他報償費	就学時健康診断(医師・歯科校医・歯科衛生士)報償費(16人)	276,240円	08.旅費	普通旅費	教育支援委員会・教育相談会報酬(4人)	160,000円	10.需用費	消耗品費	教育支援委員会委員及び就学相談会相談員旅費	35,880円		就学事務消耗品費・色覚検査費購入	41,918円		印刷製本費	入学通知、健康診断案内通知等	15,972円		合 計		530,010円	<table><tr><td>就学時健康診断</td><td>10月14日(木)・15日(金)・18日(月)・27日(水)</td><td>福富ゆうあい館</td></tr><tr><td>教育支援委員会</td><td>第1回 6月25日(金) 通級対象者</td><td></td></tr><tr><td></td><td>第2回 11月 9日(火) 次年度の就学先</td><td></td></tr></table>	就学時健康診断	10月14日(木)・15日(金)・18日(月)・27日(水)	福富ゆうあい館	教育支援委員会	第1回 6月25日(金) 通級対象者			第2回 11月 9日(火) 次年度の就学先	
07.報償費	その他報償費	就学時健康診断(医師・歯科校医・歯科衛生士)報償費(16人)	276,240円																															
08.旅費	普通旅費	教育支援委員会・教育相談会報酬(4人)	160,000円																															
10.需用費	消耗品費	教育支援委員会委員及び就学相談会相談員旅費	35,880円																															
		就学事務消耗品費・色覚検査費購入	41,918円																															
	印刷製本費	入学通知、健康診断案内通知等	15,972円																															
	合 計		530,010円																															
就学時健康診断	10月14日(木)・15日(金)・18日(月)・27日(水)	福富ゆうあい館																																
教育支援委員会	第1回 6月25日(金) 通級対象者																																	
	第2回 11月 9日(火) 次年度の就学先																																	

評価	1 事業効果 学識経験者、医師、教育職員、県及び本町の専門的職員の専門家からなる「白石町教育支援委員会」を設置、就学相談会等を開催するなど、児童及び生徒の就学の就学の適正化が図られた。	A:十分達成した B:ある程度達成 C:達成が不十分である D:達成には程遠い
	2 課題 通級指導教室については、町内は福富小学校と有明西小学校、白石中学校にあるが、年々、通級指導教室に通う児童生徒が増加傾向にあり、新規の教室開設の働きかけを県(国)へ引き続き行う必要がある。	判 定 A

事業名	スクールカウンセラー配置事業				担当部署	学校教育課 学校教育係
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 3 節	個性豊かで優れた人材の育成		
決算額 (最終予算額)	財 源 内 訳 (単位:千円)			「白石町教育の指針」 重点目標との関連		
	3,011 (3,155)	国庫	県費	地方債	その他	
			1,010		2,001	
					② 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	

内 容	1 事業概要 児童指導上の諸課題であるいじめや不登校等に対応するため、生徒の臨床心理に関して高度な専門的知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を小 学校に派遣し、以下に挙げる学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。 ① 児童へのカウンセリング ② 保護者への助言・援助 ③ 児童集団、学級や学校等集団に対するアセスメントと助言・援助 ④ 児童の困難・ストレスへの対処方法、児童への心の教育に資する全ての児童を対象とした心理教育プログラム等の実施 ⑤ 不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子供の貧困、虐待等を学校として認知した場合、自然災害、突発的な事件・事故が発生した際の援助 ⑥ 教職員へのコンサルテーション ⑦ 教職員のカウンセリング能力等の向上のための校内研修の実施 2 事業実績 <table><tr><td>07.報償費</td><td>謝礼及び謝金</td><td>スクールカウンセラー謝金</td><td>2,880,000円</td></tr><tr><td>08.旅費</td><td>普通旅費</td><td>スクールカウンセラー交通費</td><td>130,804円</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td>3,010,804円</td></tr></table> <table><tr><td>※委嘱者</td><td>白石忠明 氏(須古小・白石小・北明小・有東小・有西小・有南小)</td></tr><tr><td></td><td>松津愛 氏(六角小)</td></tr><tr><td></td><td>古賀央子 氏(福富小)</td></tr></table> ※総委嘱時間 580時間 ●相談件数、延べ相談人数 <table><tr><td>合 計</td><td>件数</td><td>人数</td><td>情報伝 達回数</td></tr><tr><td>児童</td><td>144</td><td>188</td><td>—</td></tr><tr><td>教職員</td><td>143</td><td>154</td><td>394</td></tr><tr><td>保護者</td><td>120</td><td>131</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>9</td><td>9</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>416</td><td>482</td><td>394</td></tr></table>	07.報償費	謝礼及び謝金	スクールカウンセラー謝金	2,880,000円	08.旅費	普通旅費	スクールカウンセラー交通費	130,804円	合 計			3,010,804円	※委嘱者	白石忠明 氏(須古小・白石小・北明小・有東小・有西小・有南小)		松津愛 氏(六角小)		古賀央子 氏(福富小)	合 計	件数	人数	情報伝 達回数	児童	144	188	—	教職員	143	154	394	保護者	120	131	—	その他	9	9	—		416	482	394
07.報償費	謝礼及び謝金	スクールカウンセラー謝金	2,880,000円																																								
08.旅費	普通旅費	スクールカウンセラー交通費	130,804円																																								
合 計			3,010,804円																																								
※委嘱者	白石忠明 氏(須古小・白石小・北明小・有東小・有西小・有南小)																																										
	松津愛 氏(六角小)																																										
	古賀央子 氏(福富小)																																										
合 計	件数	人数	情報伝 達回数																																								
児童	144	188	—																																								
教職員	143	154	394																																								
保護者	120	131	—																																								
その他	9	9	—																																								
	416	482	394																																								
評価	1 事業効果 時間的な制限がある中、スクールカウンセラーによる専門的な診断と対処法が示され、家庭も学校も共通理解の下で子どもの成長を見守ることができた。また、保護者や教職員を対象とした子育てに関する研修会を多く実施してもらい、現代の小学生に對する理解が深まった。さらに、保護者の精神的な安定を得るため、問題を抱える児童の保護者と定期的なカウンセリングを行うことができた。 2 課題 スクールカウンセラーの来校日数は人的制約により限界があるが、相談に対する需要は年々増加の傾向にあり、特にR3年度は昨年度と比して10%以上も増加している。有資格者人員・相談時間の適正確保が喫緊の課題である。 <table><tr><td>判 定</td><td>A</td></tr></table>	判 定	A																																								
判 定	A																																										

事業名		教育支援室事業				担当部署		学校教育課 教育総務係	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成	
		(単位:千円)						「白石町教育の指針」 重点目標との関連	
		財 源 内 訳		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 (最終予算額)		4,663 (4,794)					3,000	1,663	② 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

内 容	1 事業概要	心理的又は情緒的理由等により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での支援、指導、援助を行い自立を促しながら集団生活に適応する力を育む。学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、教育支援室コンフォースペー ス「あい」を開設、支援員を配置し、保護者からの相談、児童生徒への支援、指導、援助を行うもの。 ・場 所 白石町交流館 ゆめてらす 2階 ・支援員 専任支援員3名:常時2名(会計年度任用職員3名:主任支援員1名、支援員2名)		
	2 事業実績			
	報酬	支援員報酬(3名)	3,556,932 円	
	職員手当	期末手当	514,691 円	
	旅費	通勤費用弁償	130,600 円	
	需用費	普通旅費	0 円	令和3年度不登校児童生徒数
		消耗品費	156,000 円	30日以上 30日未満
		燃料費	13,376 円	小学校 9 3
		修繕料	51,535 円	中学校 33 6
	役務費	通信運搬費	43,654 円	
手数料		12,700 円	令和3年度「あい」入室者数	
自動車損害保険料		20,010 円	入室者	
テレビ受信料		76,076 円	小学校 0	
使用料及び賃借料	備品購入費	49,567 円	中学校 8	
	公課費	37,800 円		
	計	4,662,941 円		
	支援員:木原正和(主任支援員)、田中智子、森田公惠			

評価	1 事業効果	家庭に引きこもりがち不登校の子どもたちにとって、学校復帰へのワンステップとしての役割を果たしている。教育支援室におけるさまざまな活動、通室生一人一人に応じた対応が十分にとられ、心のエネルギーを充足する場となっている。子ども達は、教育支援室内で自ら学習に取り組む姿も見受けられるようになり「やる気」の向上が見られる。また、登校及び通室出来る日数が増えている。	
	2 課題	入室児童生徒の早期の学校への復帰。 家庭に引きこもりがち子どもたちについて、保護者、カウンセラー及び各学校と教育支援室の連携強化。	
		判 定	A

A:十分達成した
B:ある程度達成
C:達成が不十分である
D:達成には程遠い

事業名	学校給食事業				担当部署	学校教育課 学校給食係		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			
決算額 (最終予算額)	財 源 内 訳 (単位:千円)				「白石町教育の指針」 重点目標との関連			
	203,244	国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
	(211,112)				77,095	126,149		
	② 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進							
1 事業概要	※その他財源内訳(単位:千円)							
・給食センター 米飯(全11校)、副食(白石小、六角小、須古小、北明小、白石中、福富中)	・現年度給食費 77,030							
・福富小調理場(副食)、有明東小調理場(副食)、有明西小調理場(副食)、有明中調理場(副食)	・ふるさと基金 畜産振興協議会 65							
	合計					77,095		
内 容	給食調理数(R3)							
	調理場	事務職員	調理員	学校栄養職員	合計	児童生徒数 教職員数 合計		
	給食センター	3	13	4	1	21 890 138 1,028		
	福富小		6		1	7 244 29 273		
	有明東小		4			4 121 27 148		
	有明西小		3			3 125 25 150		
	有明南小		4			4 107 22 129		
	有明中		5		1	6 215 30 245		
	合計	3	35	4	3	45 1,702 271 1,973		
2 事業実績	(単位:円)							
歳入	学校給食費徴収金 77,494,118							
	杵島地区畜産振興協議会補助金 64,890							
	コロナ影響給食食材販売収入 59,700							
	合 計 77,618,708							
	(単位:円)							
歳出	調理場	給食センター	福富小	有明東小	有明西小	有明南小	有明中	合計
	運営管理費	105,241,056	371,839	298,139	305,974	295,118	354,945	106,867,071
	食材費	50,746,242	12,760,488	6,865,616	6,938,708	5,918,088	13,148,088	96,377,230
	合 計	155,987,298	13,132,327	7,163,755	7,244,682	6,213,206	13,503,033	203,244,301
評価	1 事業効果 学校給食を提供することにより、児童・生徒の心身の健全な発達に資することができた。また、栄養教諭が各学校を定期的に訪れ児童生徒を指導すること、学校給食を通じ、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができた。							
	2 課題 学校給食センター他5調理場に対応した食物アレルギー対応マニュアル及び異物混入対応マニュアルについて、令和6年度に新たに稼働する学校給食センターにおいても対応可能なマニュアルになるよう見直す必要がある。							
	判 定							A

事業名	白石町教育研究会補助事業				担当部署	学校教育課 学校教育係																								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成																								
決算額 (最終予算額)		財 源 内 訳 (単位:千円)		一般財源	「白石町教育の指針」 重点目標との関連																									
		577		国庫	地方債	その他																								
		(655)		県費																										
						④ 教職員の資質・能力の向上																								
内 容	1 事業概要 白石町の学校教育の振興を図るため白石町教育研究会に補助金を交付する。 ～白石町教育研究会の活動内容～ 白石町内小中学校相互の連絡を密にし、町教育の振興を図る ・校長・教頭の職務並びに職員相互の研修 ・児童・生徒の文化・生活・体育向上のための各種教育活動 ・町教育振興のための研究調査 ・教育関係機関との連絡・連携及び教育振興についての各種教育活動 など 2 事業実績 <table><thead><tr><th>内 容</th><th>研究費</th><th>536,347</th></tr></thead><tbody><tr><td>新たな課題(GIGAスクール関連)研究費</td><td></td><td></td></tr><tr><td>校内研究助成費(11校×30,000円)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教科等研究費(教科等研究会への補助:156,347円)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>職種別(養護・特別支援)部会費(10,000円)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>中学校体育部へ(30,000円)</td><td></td><td>30,000</td></tr><tr><td>事務用品(10,000円)</td><td></td><td>10,000</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>576,347</td></tr></tbody></table> (主要行事) 5月7日 第1回学校代表者会(校長研修会代催:白石小) 5月26 杵島郡教科等研究部会(白石中) 12月5 白石町教育の明日を考える会(ふれあい郷) 12月8 新たな課題研究会(公開授業・講義:北明小) 2月15 第2回学校代表者会(校長研修会代催:白石小) ※白石・福富・有明小学6年生交流会中止(コロナ禍) ※校長・教頭・事務長合同研修会中止(")						内 容	研究費	536,347	新たな課題(GIGAスクール関連)研究費			校内研究助成費(11校×30,000円)			教科等研究費(教科等研究会への補助:156,347円)			職種別(養護・特別支援)部会費(10,000円)			中学校体育部へ(30,000円)		30,000	事務用品(10,000円)		10,000	計		576,347
内 容	研究費	536,347																												
新たな課題(GIGAスクール関連)研究費																														
校内研究助成費(11校×30,000円)																														
教科等研究費(教科等研究会への補助:156,347円)																														
職種別(養護・特別支援)部会費(10,000円)																														
中学校体育部へ(30,000円)		30,000																												
事務用品(10,000円)		10,000																												
計		576,347																												
評価	1 事業効果 白石町内の小中学校相互の緊密な連携のもと各学校の特色を生かしながら、各部会で計画立案し、それぞれ有意義な活動ができた。年間計画に則り実施した全体事業においても、町内児童生徒への教育効果が上がる実践が出来た。 2 課題 教育現場における課題は年々変化してきており、本事業による補助が、それらに対する有用な一助となるような内容・取組みとして活用いただくことが本事業の趣旨の一部であり、研究内容の選別、最適化が課題である。					判 定	A																							

事業名	講座・教室の開催				担当部署	生涯学習課 生涯学習係																																																																																			
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 2 節	生涯学習係 生涯学習係																																																																																				
決算額 (最終予算額)	財 源 内 訳 (単位:千円)		国庫		県費	地方債	その他																																																																																		
	512 654																																																																																								
	512 654					一般財源	「白石町教育の指針」 重点目標との関連																																																																																		
						512	⑤生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進																																																																																		
1 事業概要	四季の講座として、季節に合った生涯学習講座を開催する。 住民に求められる生涯学習講座・教室を提案し、地域の方たちの文化教養を深め、心豊かな人づくりと、町内地域の一体的な融和を目指す。																																																																																								
2 事業実績	□教室・講座の開催 511,124 円 (うち、陶芸館電気料 272,393円)																																																																																								
内 容	<table><thead><tr><th>科 目</th><th>決算額</th></tr></thead><tbody><tr><td>07 報償費</td><td>156,000</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>355,124</td></tr><tr><td>合 計</td><td>511,124</td></tr></tbody></table> <table><thead><tr><th>令和3年度</th><th>内 容</th><th>期 日</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="6">春</td><td>1 春の陶芸教室</td><td>5月12日～29日(全4回)</td><td>8</td></tr><tr><td>2 白石町文化財探訪</td><td>5月14日(金)</td><td>9</td></tr><tr><td>3 バラが主役の寄せ植え</td><td>5月22日(土)</td><td>10</td></tr><tr><td>4 初夏の素敵な寄せ植え</td><td>5月28日(金)</td><td>15</td></tr><tr><td>5 苔玉づくり</td><td>5月29日</td><td>12</td></tr><tr><td>6 九州オルレ ～唐津コース～</td><td>5月29日</td><td>(コロナ禍中止)</td></tr><tr><td rowspan="2">夏</td><td>1 夏休み親子陶芸教室</td><td>7月22日～8月21日(全4回)</td><td>16</td></tr><tr><td>2 勾玉づくり体験</td><td>8月3・4日(水)(3会場実施)</td><td>45</td></tr><tr><td rowspan="8">講座・教室</td><td>1 家族をおもてなし手作りスイーツ講座</td><td>11月2日</td><td>15</td></tr><tr><td>2 秋の陶芸教室</td><td>11月11日～12月4日(全4回)</td><td>7</td></tr><tr><td>3 本格味噌作り</td><td>11月11日(木)、11月17日(水)、11月25日(木)</td><td>25</td></tr><tr><td>4 白石町文化財探訪</td><td>11月17日(水)</td><td>11</td></tr><tr><td>5 初心者でも書ける字手紙年賀状</td><td>11月19日</td><td>15</td></tr><tr><td>6 オリジナルお屠蘇づくり</td><td>11月26日(金)AM,PM2回実施</td><td>7</td></tr><tr><td>7 ヨーガ教室</td><td>11月27日(土)</td><td>19</td></tr><tr><td>8 初めてのスヌマホ講座</td><td>11月29日(火)・30日(水)(全2回)</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="5">冬</td><td>1 親子でクリスマスリース作り教室</td><td>12月12日</td><td>8組(18人)</td></tr><tr><td>2 IHを使ったエコキャンダル作り</td><td>12月16日</td><td>3</td></tr><tr><td>3 わたしと家族の「そぞく」講座</td><td>2月7日～9日(全3回)</td><td>(コロナ禍中止)</td></tr><tr><td>4 親子で「アートクラフト作り教室」</td><td>2月23日(水・祝)</td><td>(コロナ禍中止)</td></tr><tr><td>5 親子で作る「消しゴムはんこ」</td><td>2月27日(日)</td><td>(コロナ禍中止)</td></tr><tr><td>6 春の素敵な寄せ植え</td><td>3月10日(木)</td><td>10</td></tr></tbody></table> 単位:人							科 目	決算額	07 報償費	156,000	10 需用費	355,124	合 計	511,124	令和3年度	内 容	期 日	参加者数	春	1 春の陶芸教室	5月12日～29日(全4回)	8	2 白石町文化財探訪	5月14日(金)	9	3 バラが主役の寄せ植え	5月22日(土)	10	4 初夏の素敵な寄せ植え	5月28日(金)	15	5 苔玉づくり	5月29日	12	6 九州オルレ ～唐津コース～	5月29日	(コロナ禍中止)	夏	1 夏休み親子陶芸教室	7月22日～8月21日(全4回)	16	2 勾玉づくり体験	8月3・4日(水)(3会場実施)	45	講座・教室	1 家族をおもてなし手作りスイーツ講座	11月2日	15	2 秋の陶芸教室	11月11日～12月4日(全4回)	7	3 本格味噌作り	11月11日(木)、11月17日(水)、11月25日(木)	25	4 白石町文化財探訪	11月17日(水)	11	5 初心者でも書ける字手紙年賀状	11月19日	15	6 オリジナルお屠蘇づくり	11月26日(金)AM,PM2回実施	7	7 ヨーガ教室	11月27日(土)	19	8 初めてのスヌマホ講座	11月29日(火)・30日(水)(全2回)	10	冬	1 親子でクリスマスリース作り教室	12月12日	8組(18人)	2 IHを使ったエコキャンダル作り	12月16日	3	3 わたしと家族の「そぞく」講座	2月7日～9日(全3回)	(コロナ禍中止)	4 親子で「アートクラフト作り教室」	2月23日(水・祝)	(コロナ禍中止)	5 親子で作る「消しゴムはんこ」	2月27日(日)	(コロナ禍中止)	6 春の素敵な寄せ植え	3月10日(木)	10
科 目	決算額																																																																																								
07 報償費	156,000																																																																																								
10 需用費	355,124																																																																																								
合 計	511,124																																																																																								
令和3年度	内 容	期 日	参加者数																																																																																						
春	1 春の陶芸教室	5月12日～29日(全4回)	8																																																																																						
	2 白石町文化財探訪	5月14日(金)	9																																																																																						
	3 バラが主役の寄せ植え	5月22日(土)	10																																																																																						
	4 初夏の素敵な寄せ植え	5月28日(金)	15																																																																																						
	5 苔玉づくり	5月29日	12																																																																																						
	6 九州オルレ ～唐津コース～	5月29日	(コロナ禍中止)																																																																																						
夏	1 夏休み親子陶芸教室	7月22日～8月21日(全4回)	16																																																																																						
	2 勾玉づくり体験	8月3・4日(水)(3会場実施)	45																																																																																						
講座・教室	1 家族をおもてなし手作りスイーツ講座	11月2日	15																																																																																						
	2 秋の陶芸教室	11月11日～12月4日(全4回)	7																																																																																						
	3 本格味噌作り	11月11日(木)、11月17日(水)、11月25日(木)	25																																																																																						
	4 白石町文化財探訪	11月17日(水)	11																																																																																						
	5 初心者でも書ける字手紙年賀状	11月19日	15																																																																																						
	6 オリジナルお屠蘇づくり	11月26日(金)AM,PM2回実施	7																																																																																						
	7 ヨーガ教室	11月27日(土)	19																																																																																						
	8 初めてのスヌマホ講座	11月29日(火)・30日(水)(全2回)	10																																																																																						
冬	1 親子でクリスマスリース作り教室	12月12日	8組(18人)																																																																																						
	2 IHを使ったエコキャンダル作り	12月16日	3																																																																																						
	3 わたしと家族の「そぞく」講座	2月7日～9日(全3回)	(コロナ禍中止)																																																																																						
	4 親子で「アートクラフト作り教室」	2月23日(水・祝)	(コロナ禍中止)																																																																																						
	5 親子で作る「消しゴムはんこ」	2月27日(日)	(コロナ禍中止)																																																																																						
6 春の素敵な寄せ植え	3月10日(木)	10																																																																																							
1 事業効果	これまでの春、秋2回の講座に限らず、四季の講座として年間を通して、各係趣向を凝らした事業を実施することができた。コロナウイルス感染症拡大により開催できない事業や時期もあったが、前年比で2割ほど参加者増に繋がった。 陶芸、味噌づくりや寄せ植え等の趣味性の講座を開くことで趣味づくりのきっかけや実用的な講座を実施できている。																																																																																								
2 課題	生涯の趣味や生きがいになる講座、教室の提案が求められる。 参加多数の場合は抽選としたが、参加者の固定化を防ぐためにも今後は未経験者を優先する必要がある。																																																																																								
評価	判定						A																																																																																		

事業名	ゆうあい図書館教室等の開催				担当部署	生涯学習課 福富ゆうあい館係	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第1節	個性豊かで優れた人材の育成		
決算額 (最終予算額)	財源内訳 (単位:千円)		国庫	県費	地方債	その他	一般財源
	47					1	
	(185)						
							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
							⑤生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進

内 容	1 事業概要		・館内おはなし会の開催(毎月第2・4土曜日)		※3・4は延べ人数
	・ゆうあい教室の開催(年間5回)		・その他図書館イベント		
	町民の憩いの場及び学習の場として、地域に親しまれる図書館を目指し、町民の要望にこたえられるような図書館づくりを図る。				
	2 事業実績		46,875 円		700 円
	□ゆうあい図書館教室等の開催		□ゆうあい教室参加料(9月のみ)		

令和3年度	期 日	教室内容	参加者数	合 計
1 ゆうあい教室 (工作教室)	5月28日(金)	春の講座「初夏の素敵な寄せ植え」	15人	44人
	7月25日(日)	牛乳パックを使った「パタパタふねをつくってあそぼう」	9人	
	9月26日(日)	しばかりケンを作ろう	11人	
	11月11日(木)	秋の講座「本格味噌作り」	9人	
	2月13日(日)	燻製をつくろう(コロナ禍中止)		
2 館内おはなし会	毎月第2・4土曜日(8・2月は中止、6・7・9・11月は1回)	年間16回	135人	
3 GoToゆうあい図書館 スタンプキャンペーン	7月21日(水)～ 8月31日(火)	町内小学生対象	688人	
4 図書館まつり (ゆうあい図書館フェス)	10月30日(土) 、 11月7日(日)	ブックリサイクル(229人) ぬりえコンテスト(31点) お宝探し・本のお楽しみ袋(17袋)貸出	300人	

評 価	1 事業効果 おはなし会・ゆうあい教室は、町内読み聞かせ団体の協力を受け、コロナウイルス感染予防対策を行いながら、開催することができた。 また、町内小学生を対象としたGoToゆうあい図書館スタンプキャンペーンは、好評で貸出冊数・来館者増につながった。図書館イベントとゆうあい館利用団体と併せての開催で参加者増を図ることができた。	A:十分達成した B:ある程度達成 C:達成が不十分である D:達成には程遠い
	2 課題 町内読み聞かせ団体も高齢化、会員の減少等問題を抱えながらも、協力のおかげで図書館行事は開催できている。 集客を伸ばすために、幅広い年齢層が関心のある内容を選定し実施する。固定客の他に新規の図書館利用者を増やすために図書館PRや利用しやすい環境を整え必要とされる情報提供に努める。	A

事業名	家庭教育啓発事業				担当部署	生涯学習課 生涯学習係	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
決算額 (最終予算額)	財 源 内 訳 (単位:千円)				「白石町教育の指針」 重点目標との関連		
	66	国庫	県費	地方債	その他		
	(240)				66	⑥青少年の健全育成	

1 事業概要
家庭教育はすべての教育の出発点であり、学校教育の前段階としての役割も大きいため、町広報紙に「家庭教育コラム」を掲載することで家庭、地域における子育てや親子のコミュニケーションの重要性を説く。

2 事業実績
(単位:円)

科 目	決算額
07 報償費	65,600
合 計	65,600

内 容	《令和3年度実績》 <table><tr><td>No.</td><td>掲載月</td><td>寄稿者</td><td>肩書き</td><td>タイトル</td></tr><tr><td>1</td><td>6月号</td><td>北村 喜久次</td><td>白石町教育委員会教育長</td><td>子ども達に“レジリエンス”を</td></tr><tr><td>2</td><td>7月号</td><td>稲佐 英明</td><td>玉泉坊住職(白石町教育委員)</td><td>家庭学習と基本的な生活習慣を身につけるには・・・</td></tr><tr><td>3</td><td>8月号</td><td>白石 忠明</td><td>佐賀県スクールカウンセラー(臨床心理士)</td><td>家族とともに育つころ～精神的な自立に向けて～</td></tr><tr><td>4</td><td>9月号</td><td>片淵 直美</td><td>ありあけおはなしキャラバン代表(白石町社会教育委員)</td><td>絵本文化で生きる力を！</td></tr><tr><td>5</td><td>10月号</td><td>川崎 姿子</td><td>保健師(白石町教育委員)</td><td>コロナ禍の子育てで思うこと</td></tr><tr><td>6</td><td>11月号</td><td>川崎 光春</td><td>元白石高等学校長</td><td>伴走者 褒め励ましてゴールまで</td></tr><tr><td>7</td><td>12月号</td><td>田中 知子</td><td>子育て応援サークルはぐはぐ代表</td><td>自分で考え、選び、行動できる子どもに</td></tr><tr><td>8</td><td>1月号</td><td>室 英理子</td><td>医療法人至慈会 高島病院 小児科医</td><td>いろいろな家庭があっていい</td></tr><tr><td>9</td><td>2月号</td><td>稲富 ひとみ</td><td>日本習字講師</td><td>教育は自他共栄</td></tr><tr><td>10</td><td>3月号</td><td>溝口 京子</td><td>民生委員・児童委員(主任児童委員)(元白石町立あかり保育園長)</td><td>スマイル 笑顔って・・・</td></tr><tr><td>11</td><td>4月号</td><td>百武 博文</td><td>森の体験塾「優遊」子どもの遊び研究所 主宰(佐賀県キャンプ協会)</td><td>子どもの成長 ～遊びと体験～</td></tr></table>	No.	掲載月	寄稿者	肩書き	タイトル	1	6月号	北村 喜久次	白石町教育委員会教育長	子ども達に“レジリエンス”を	2	7月号	稲佐 英明	玉泉坊住職(白石町教育委員)	家庭学習と基本的な生活習慣を身につけるには・・・	3	8月号	白石 忠明	佐賀県スクールカウンセラー(臨床心理士)	家族とともに育つころ～精神的な自立に向けて～	4	9月号	片淵 直美	ありあけおはなしキャラバン代表(白石町社会教育委員)	絵本文化で生きる力を！	5	10月号	川崎 姿子	保健師(白石町教育委員)	コロナ禍の子育てで思うこと	6	11月号	川崎 光春	元白石高等学校長	伴走者 褒め励ましてゴールまで	7	12月号	田中 知子	子育て応援サークルはぐはぐ代表	自分で考え、選び、行動できる子どもに	8	1月号	室 英理子	医療法人至慈会 高島病院 小児科医	いろいろな家庭があっていい	9	2月号	稲富 ひとみ	日本習字講師	教育は自他共栄	10	3月号	溝口 京子	民生委員・児童委員(主任児童委員)(元白石町立あかり保育園長)	スマイル 笑顔って・・・	11	4月号	百武 博文	森の体験塾「優遊」子どもの遊び研究所 主宰(佐賀県キャンプ協会)	子どもの成長 ～遊びと体験～
No.	掲載月	寄稿者	肩書き	タイトル																																																									
1	6月号	北村 喜久次	白石町教育委員会教育長	子ども達に“レジリエンス”を																																																									
2	7月号	稲佐 英明	玉泉坊住職(白石町教育委員)	家庭学習と基本的な生活習慣を身につけるには・・・																																																									
3	8月号	白石 忠明	佐賀県スクールカウンセラー(臨床心理士)	家族とともに育つころ～精神的な自立に向けて～																																																									
4	9月号	片淵 直美	ありあけおはなしキャラバン代表(白石町社会教育委員)	絵本文化で生きる力を！																																																									
5	10月号	川崎 姿子	保健師(白石町教育委員)	コロナ禍の子育てで思うこと																																																									
6	11月号	川崎 光春	元白石高等学校長	伴走者 褒め励ましてゴールまで																																																									
7	12月号	田中 知子	子育て応援サークルはぐはぐ代表	自分で考え、選び、行動できる子どもに																																																									
8	1月号	室 英理子	医療法人至慈会 高島病院 小児科医	いろいろな家庭があっていい																																																									
9	2月号	稲富 ひとみ	日本習字講師	教育は自他共栄																																																									
10	3月号	溝口 京子	民生委員・児童委員(主任児童委員)(元白石町立あかり保育園長)	スマイル 笑顔って・・・																																																									
11	4月号	百武 博文	森の体験塾「優遊」子どもの遊び研究所 主宰(佐賀県キャンプ協会)	子どもの成長 ～遊びと体験～																																																									

1 事業効果 広報紙に「家庭教育コラム」を掲載することで、色々な分野の方々目線での家庭教育についての学びを、子どものいる世帯に限らず広く地域住民、又色々な年齢層の方々に見ていただき、意識や知識が向上し、家庭教育への重要性を認識する一助となった。	A:十分達成した B:ある程度達成 C:達成が不十分である D:達成には程遠い
2 課題 毎月掲載のため、執筆内容が偏らないように、また早期の執筆者の選定、依頼が必要である。また、今後、広報紙に掲載したコラムを小冊子にし、小中学校保護者に配布することで家庭教育に関するアドバイスができるようにしていきたい。	判 定 A

事業名	漁村民泊体験活動事業					担当部署	生涯学習課 生涯学習係																			
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		個性豊かで優れた人材の育成																						
財源内訳		(単位:千円)		「白石町教育の指針」 重点目標との関連																						
決算額 (最終予算額)	0 (1,191)	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																				
				0	0	0																				
⑥ 青少年の健全育成																										
内容	1 事業概要 青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人々や関係団体との協力のもと、文化・野外活動、自然体験活動を行う。 自然の中で、子ども達がたくましく自主性を学び、友情を育み、資質を高め、白石町の青少年リーダーとなることを目指す。 ○体験活動(平戸市の山大島)・・・町内小学校4～6年生の希望者(定員30名)に、漁村民泊体験活動を中心とした体験学習活動を行う。 2 事業実績 実施計画で募集予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業実施の中止に至った。																									
容	○的山大島漁村民泊体験活動(コロナ禍中止) <table><thead><tr><th>回数</th><th>内容</th><th>期 日</th><th>場 所</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>事前説明会</td><td>7月28日(金)</td><td>白石町役場</td></tr><tr><td>2</td><td>アイスブレイク1回目</td><td>7月31日(土)</td><td>福富ゆうあい館</td></tr><tr><td>3</td><td>アイスブレイク2回目</td><td>8月 9日(月)</td><td>福富ゆうあい館</td></tr><tr><td>4</td><td>漁村民泊体験</td><td>8月18日(水)～20日(金)</td><td>長崎県平戸市大島村</td></tr></tbody></table>						回数	内容	期 日	場 所	1	事前説明会	7月28日(金)	白石町役場	2	アイスブレイク1回目	7月31日(土)	福富ゆうあい館	3	アイスブレイク2回目	8月 9日(月)	福富ゆうあい館	4	漁村民泊体験	8月18日(水)～20日(金)	長崎県平戸市大島村
回数	内容	期 日	場 所																							
1	事前説明会	7月28日(金)	白石町役場																							
2	アイスブレイク1回目	7月31日(土)	福富ゆうあい館																							
3	アイスブレイク2回目	8月 9日(月)	福富ゆうあい館																							
4	漁村民泊体験	8月18日(水)～20日(金)	長崎県平戸市大島村																							
評価	1 事業効果 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら実施する方向で体験活動を計画したが、感染拡大により前年度に引き続き事業の中止に至り、令和3年度の事業効果を見極めることはできない。 2 課題 令和3年度からは、“おおどぼう”を育てるという理念から、地域、家庭、学校みんなで連携・協同し、“ひっきゃ”で“おおどぼう”を育てるという理念へと方向性を転換したが、大島村漁村民泊体験事業は継続実施することで野外、自然体験教育を行うこととしてきた。しかし、コロナウイルス感染症拡大により、県外での活動が制限される中、令和4年度は実施可能な事業を模索し実施することが必要である。																									
判定						—																				

事業名		「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進				担当部署	生涯学習課 生涯スポーツ係										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実											
		(単位:千円)															
		財源内訳		国庫	県費	地方債	その他	一般財源									
決算額 (最終予算額)		28 (169)						28									
		「白石町教育の指針」 重点目標との関連															
		⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興															
内 容	1 事業概要 町民全てが健やかで心豊かに暮らすことを願い、スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のある町を目指すため、令和元年12月に「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」をされた。この宣言の目標達成に向けて掲げている宣言目標や取組方針(行動計画)の実現に向けての検討及び普及推進を行う。 R3年度計画 ・白石町スポーツ・健康増進のまちづくり推進委員会の設置 ・白石町スポーツ・健康増進のまち推進事業の実施																
	2 事業実績 ・スポーツ・健康増進のまちづくり推進委員会を設立するために関係各課との協議を行い、各分野からの意見を取り入れるための推進委員の人選等を検討した。また、各課の現在取り組んでいる事業の洗い出し等も行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりスポーツ行事が中止となり、先行きが分らなかったため推進委員会を立ち上げることができなかった。 ・「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進事業の一環として「白石町教育の明日を考える集会」を開催し、サガン鳥栖U-15監督 森恵佑氏の講演と親子ふれあいサッカー教室を実施した。 ・事業経費																
		(単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>細 節</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>会場借上料</td> <td>27,210</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>27,210</td> </tr> </tbody> </table> ※総合戦略課「白石町地方創生イノベーション推進事業費補助金(100万円)」を活用 ※会場借上料のみ生涯学習課で支出 ※記念品代については、学校教育課予算より支出							科 目	細 節	決算額	13 使用料及び賃借料	会場借上料	27,210		計	27,210
科 目	細 節	決算額															
13 使用料及び賃借料	会場借上料	27,210															
	計	27,210															
評 価	1 事業効果 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ニュースポーツ体験会及び教育の明日を考える集会以外のすべてのスポーツ行事等を中止したこと、また、推進委員会の設立ができなかったこと等により、「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」にある行動計画の新たな取り組み、実施検証ができなかった。																
	2 課題 コロナ禍によるスポーツ行事等の内容や運営方法の見直し、また、関係各課との協議を行い、推進委員会を設立する必要がある。																
						判 定		B									

事業名		オリンピック聖火リレー開催事業			担当部署	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進係	
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実	
		(単位:千円)				「白石町教育の指針」 重点目標との関連	
決算額 (最終予算額)		1,548 (1,550)	国庫	県費	地方債	その他	⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興
1 事業概要							
東京2020オリンピック及びパラリンピックの令和3年度開催に伴い、全国的に聖火リレーが開催されることになったことから、本町においても「希望の道をつなごう」のコンセプトのもと、令和3年5月9日(日)に聖火リレーを開催し、東京2020オリンピックへの関心や町民のスポーツ意識の向上、町の活性化を図る。 実施にあたっては、警備・交通・道路関係機関との調整をばじめ、協力団体やボランティアの募集、関連イベントに係る広報など、聖火リレーの安全かつ円滑な運営のために万全な準備体制確保に努める。							
2 事業実績							
(1) 事業経費 (単位:円)							
内 容		科 目	決算額	内 容			
		10.需用費	160,931	運営スタッフフォーム(バンヤツ)他消耗品			
		11.役務費	1,376	郵送料			
		13.使用料及び賃借料	1,386,000	警備用資機材リース料			
		計	1,548,307				
聖火ランナー走路ゾーンと観覧者ゾーンの仕切りとして警備用資機材(リース)を設置し安全対策を図った。 聖火リレーの出發・ゴール地点において、町独自盛り上げ施策として伝承芸能等を披露する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため急遽取り止めた。							
(2) 事業経費 (単位:円)							
		大弘寺 SATRT	1300 聖火ランナーズタンバイ セレモニー開会(MC) 1310 町長挨拶 1313 県知事挨拶 1315 フォトセッション 1320 聖火リレースタート				
		10区間 ランナー10名 (1名あたり 約180m)	約1,800m				
		GOAL 道の駅しろいし	1335 三役、MC、広報到着 1337 閉会セレモニー(MC) 1338 県知事挨拶 1344 聖火リレーゴール フォトセッション 1347 町長閉会挨拶 1354 ランナー集合場所へ 1400 終了解散				
		従事スタッフ	人員数	備 考			
		交通 指 導 員	40	警備、交通誘導係			
		ス ポ ー ツ 推 進 員	20	警 備 係			
		ボランティア(中・高生)	35	- コロナにより非招集			
		建設業組合役員	118	中継ポイント設置・撤去			
		職 員	213				
		計	213				
1 事業効果							
○町民の特別な体験の場となり、東京2020オリンピック及びパラリンピックへの機運醸成を図ることができた。コロナ禍のなか、多くの町民の方々に沿道で観覧いただき、また、ゴール地点の道の駅しろいしも盛況で、町の活性化につながるイベントとなった。							
2 課題							
○令和6年度開催のSAGA2024国スポ・全障スポーツ競技会やその大会に関連するイベント等の円滑かつ効率的な実施運営に向けて、今回のイベント開催で培ったノウハウや経験等を活かす必要がある。							
評価		判 定					A

事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の推進			担当部署	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進係		
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実	
決算額 (最終予算額)	120,257 (120,275)		(単位:千円)		「白石町教育の指針」 重点目標との関連		
	財 源	内 訳	国庫	県費	地方債	その他	
				24,785	68,800	20,000	
					6,672	⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興	
1 事業概要	地方債の名称:合併特別債 その他の財源:スポーツ振興くじ助成金						
令和6年開催のSAGA2024国スポ・全障スポの競技会並びにデモンストレーションスポーツやリハーサル大会などの関連大会の開催に向け、実行委員会(専門委員会)の運営をはじめ、先催県の情報をもとに、県や関係競技団体等と連携を図りながら、円滑な大会運営のためのしつかりとした準備を行う。また、ホームページの開設や大会PRグッズの製作・配布・学校訪問2024による体験学習などで大会開催を広く周知し、町民協働を促す啓発活動も強化する。競技会場施設である白石町総合運動場については、大会競技選手やその他利用者が安心・安全のもと競技(利用)できるように、グラウンド整備や防球ネット改修工事を実施する。							
2 事業実績	(単位:円)						
(1)事業経費	科 目	決算額	内 容				
	12.委託料	2,640,000	総合運動場改修工事設計業務委託料				
	14.工事請負費	114,082,100	総合運動場整備工事、防球ネット改修工事				
	19.負担金、補助金及び交付金	3,535,000	実行委員会へ				
	計	120,257,100					
(2)実行委員会収支	(単位:円)						
	収 入		支 出				
	1.町負担金	3,535,000	1.総務費		246,561		
	2.繰越金	407,740	会議費		12,960	各専門委員会開催時のお茶代	
	3.預金利息	14	事務局費		233,601	記録用カメラ、郵送・切手代、ファイル他消耗品	
			2.開催推進費		1,803,656		
			調査費		618,186	先催県への視察	
			広告啓発費		1,185,470	横断幕、懸垂幕、ネックストラップ等啓発グッズ製作	
			3.予備費		-		
	計	3,942,754	計		2,050,217		
	【 町負担金 】 - 【 支出済額 】 = 【 次年度繰り越し 】						
	3,942,754円 - 2,050,217円 = 1,892,537円						
1 事業効果	OSAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会の第2回総会並びに各専門委員会の開催により、基本的な計画等を策定することができた。 OPRグッズの製作・配布や懸垂幕・横断幕の掲示、学校訪問2024等の啓発活動により、町民に大会開催の周知を行うことができた。 ○グラウンド整備や防球ネット改修工事を実施し、競技会場施設の万全な整備ができた。						
2 課題	○令和4年度以降は、大会の円滑な運営に向け、各専門委員会において多種多様の要項等の制定について協議・決定していく必要がある。 ○広報紙への掲載やホームページの更新、公共施設への啓発コーナー設置など広報活動をさらに強化し、大会の認知や参加意欲の向上を図る必要がある。						
評価						判 定	A

事業名	須古城跡環境整備事業				担当部署	生涯学習課 生涯学習係										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創出											
		財 源 内 訳 (単位:千円)			「白石町教育の指針」 重点目標との関連											
決算額 (最終予算額)	3,922 (11,000)	国庫	県費	地方債	その他	3,922	⑧郷土文化の保存・伝承と芸術・文化の振興									
内 容	1 事業概要 須古城跡の国史跡指定を目指し、第一段階として詳細な地形測量図作成のために支障となっている中心部小丘に繁茂している竹の伐採・移動・処分について、令和2年度より2カ年計画にて事業を実施する。計画の2年目となる令和3年度は、中心部小丘南西側の竹の伐採、移動、一部処分を実施する。 2 事業実績 須古城跡中心部中段南西側の1,675㎡の竹伐採とその処分。同南西側斜面の約1,980㎡枯れ竹の移動と処分。 中心部南西側の420㎡の枯れ竹の移動。 中心部北側の令和2年度伐採範囲(4,000㎡)の除草。 道路・民家側に存在する高木樹木8本の枝打ち、伐採、処分。 事業経費 (単位:円) <table border="1"> <tr> <th>科 目</th> <th>細 節</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>12 委託料</td> <td>須古城跡竹等伐採委託料</td> <td>3,921,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>3,921,500</td> </tr> </table>							科 目	細 節	決算額	12 委託料	須古城跡竹等伐採委託料	3,921,500	合 計		3,921,500
科 目	細 節	決算額														
12 委託料	須古城跡竹等伐採委託料	3,921,500														
合 計		3,921,500														
評価	1 事業効果 詳細地形測量の主な対象となる重要な遺構(石壁・横矢掛り・竪堀)や南西側の腰曲輪を明確に認識することができるようになり、須古城跡の見学者の便宜も図ることができた。 2 課題 令和4年度の詳細地形測量委託まで、伐採した箇所の現状を維持するために、春先に芽を出す新竹の除去を継続することと、令和5年度以降の確認調査を実施するに際して、既に伐採・集積されている多量の竹の搬出とその処分方法の検討が必要である。 <table border="1"> <tr> <td>判定</td> <td>A</td> </tr> </table>							判定	A							
判定	A															

事業名		白石町教育の明日を考える集会				担当部署	学校教育課 生涯学習課	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成	
		財 源 内 訳 (単位:千円)			「白石町教育の指針」 重点目標との関連			
決算額 (最終予算額)		20	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
		(50)						20 ⑨ 教育行政(教育委員会)に対する町民の理解促進
※最終予算については、学校教育課予算								
内 容	1 事業概要 本町の教育・文化・スポーツの現状や取り組みについて周知し、町民の皆様方の御理解を深めるとともに、意見交換並びに交流を図ることで、将来の本町教育の方向性について共に考える。							
	2 事業実績 開催日 令和3年12月5日(日) ・場所 有明スカイパークふれあい郷 有明スカイパークふれあい郷 有明スカイパークふれあい郷 芝広場(親子ふれあいサッカー教室) 事業費 0 円 講師謝金 19,800 円 記念品代 19,800 円 ※地方創生イノベーション推進事業(100万円)を活用 ※会場借り上げ料27,210円については、生涯学習課予算保健体育総務費の使用料及び賃借料より支出(スポーツ・健康増進のまち推進事業関連) 講演会場内 150人(別途オンライン参加) 当日再生26回(各校内研再生を含む)12月中に34回再生。 親子ふれあいサッカー教室 60人 主催者 白石町教育委員会 共催 白石町教育研究会 白石町スポーツ協会	開催日程 ① 受付 ② 開会行事 あいさつ・来賓祝辞・教育功労者表彰 ③ 講演・親子ふれあいサッカー教室【同時開催】 講師:サガン鳥栖U-15監督 森 恵佑 氏 演題:「サガン鳥栖アカデミーの人材育成について」 親子ふれあいサッカー教室:サガン鳥栖サッカースクールコーチ ※親子で楽しく体を動かすサッカー教室 対象:年中～小学2年生の親子 定員:親子30組(60人) ④ 閉会行事 謝辞						
評 価	1 事業効果 今年度の集会も、令和元年12月議会での「スポーツ・健康増進のまち宣言」の議決を受け、スポーツ・運動を通じた健康増進の普及推進の一環として開催。講師の選定については、今年8月に『白石町×サガン鳥栖「スポーツ・健康増進のまち」共同宣言』を受け、サガン鳥栖協力のもとサガン鳥栖U-15監督森恵佑氏より講演いただき、同時開催として「親子ふれあいサッカー教室」を行った。サガン鳥栖アカデミーでの人材育成の専門的な内容の講演、通常のスポーツ教室と違い、子ども達だけでなく親子のサッカー教室ということで、「スポーツ・健康増進のまち宣言」の今後の普及促進のための、専門的な内容及び楽しくふれあい体を動かすことの楽しさを味わうことのできる集会とすることが出来た。	A:十分達成した B:ある程度達成 C:達成が不十分である D:達成には程遠い						
	2 課題 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しての開催となった。ウィズコロナ、アフターコロナを念頭に本旨である「将来の本町教育の方向性について共に考える。」とあるように多くの町民に参加いただく集会にしていきたい。	判 定 A						

事業名	新設中学校「新しい学校づくり準備委員会」の設置				担当部署	学校教育課 新しい学校づくり係																					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成																						
財 源 内 訳 (単位:千円)																											
決算額 (最終予算額)	4,143 (4,588)	国庫	県費	地方債	その他	「白石町教育の指針」 重点目標との関連 ⑩ 小中学校再編に関する取組																					
					4,000		143																				
内 容	1 事業概要 少子化による生徒数の減少に伴い、白石町立中学校の小規模化が進行し中学校間の教育活動の格差が生じる中で、生徒のよりよい教育環境を整えるため、白石町立中学校統合再編計画に基づき、町内中学校の再編を進める。 新設中学校新しい学校づくり準備委員会を設置し、令和6年度に新設中学校を開校するための具体的な事項について協議、決定を行った。 ○協議事項：校名、校歌、校章、制服、学校教育目標、通学支援及びPTA組織ほか、新設中学校を円滑に開校するための必要な事項																										
	2 事業実績 準備委員会(5回)、総務・組織部会(各4回)、学校運営部会(3回) 合計 16回 開催																										
容	<table><thead><tr><th>節</th><th>決算額(千円)</th><th>内容説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>01 報酬</td><td>2,565</td><td>指導主事(会計年度任用職員)報酬 2,565,588 円</td></tr><tr><td>03 職員手当等</td><td>311</td><td>指導主事(会計年度任用職員)期末手当 311,148 円</td></tr><tr><td>07 報償費</td><td>1,237</td><td>新しい学校づくり準備委員会委員報償費 1,236,600 円</td></tr><tr><td>08 旅費</td><td>0</td><td>先進地視察研修 0 円</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>30</td><td>事務用品 29,984 円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4,143</td><td></td></tr></tbody></table>						節	決算額(千円)	内容説明	01 報酬	2,565	指導主事(会計年度任用職員)報酬 2,565,588 円	03 職員手当等	311	指導主事(会計年度任用職員)期末手当 311,148 円	07 報償費	1,237	新しい学校づくり準備委員会委員報償費 1,236,600 円	08 旅費	0	先進地視察研修 0 円	10 需用費	30	事務用品 29,984 円	合 計	4,143	
節	決算額(千円)	内容説明																									
01 報酬	2,565	指導主事(会計年度任用職員)報酬 2,565,588 円																									
03 職員手当等	311	指導主事(会計年度任用職員)期末手当 311,148 円																									
07 報償費	1,237	新しい学校づくり準備委員会委員報償費 1,236,600 円																									
08 旅費	0	先進地視察研修 0 円																									
10 需用費	30	事務用品 29,984 円																									
合 計	4,143																										
評価	1 事業効果 対象校の教職員、保護者及び地域住民の代表で組織する「新しい学校づくり準備委員会」で、開校するための具体的な事項について協議・決定を行い、新設中学校の円滑なスタートに向けた準備ができた。 2 課題 令和6年4月の新設白石中学校開校に向けて、スムーズな開校ができるよう引き続き令和5年度まで継続して協議、決定を行っていかねばならない。 また、保護者や住民等への周知を図り、理解を得ながら進めていくことが重要である。																										
						判定 A																					

事業名	中学校再編に伴う施設整備				担当部署	学校教育課 新しい学校づくり係	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】		基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
財 源 内 訳 (単位:千円)							
決算額 (最終予算額)	64,227 (879,200)	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
				53,000		11,227	
「白石町教育の指針」 重点目標との関連							
⑩ 小中学校再編に関する取組							
内 容	1 事業概要 少子化による生徒数の減少に伴い、白石町立中学校の小規模化が進行し中学校間の教育活動の格差が生じる中で、生徒のよりよい教育環境を整えるため、白石町立中学校統合再編計画に基づき、町内中学校を統合再編する。						
	2 事業実績						
節	予算額(千円)	決算額(千円)	細節	内容説明			
11. 役務費	1,000	457	手数料	新設中学校増築改修工事に伴う仮設計可申請手数料 120,000 円 新設中学校増築工事に伴う建築確認申請手数料 71,000 円 新設中学校増築工事に伴う構造適合性判定手数料 266,000 円			
12. 委託料	66,200	44,770	設計委託料	白石町立新設中学校増築改修工事基本・実施設計業務委託 35,570,700 円 白石町立新設中学校・学校給食センター増改築に伴う測量・地質調査業務委託 4,994,790 円 白石町立新設中学校増築改修に伴う家屋等事前調査業務委託 4,204,200 円			
14. 工事請負費	812,000	19,000	工事請負費	白石町立白石中学校技術科棟ほか解体工事 前私金 19,000,000 円			
合 計	879,200	64,227					
評価	1 事業効果 統合再編に向け測量・調査・設計を行い、施設については教室不足に対応するための増築、改修のほか、バリアフリー化、トイレの洋式化などにより、安全安心な教育環境の整備方針が決まった。また、解体工事を前倒したことにより、令和4年度からの新設中学校整備がスムーズに行えるとともに工程的に余裕ができた。						
	2 課題 令和6年4月の新設中学校開校に向けて、学校と密な調整を図りながら教師・生徒たちになるべく負担がかからないような工程を組む必要がある。また、コロナ過で資材によってはすぐに入手することが困難な事が予想されるため、工事を早期発注することにより確実な資材確保を図る必要がある。						
判 定						A	

5 評価委員の意見・評価

白石町教育の指針 における重点目標 (事業)について	根本的なところであるが、2点検・評価の方法について(P1)のスケジュールで内容説明に「教育委員会による事務事業点検・自己評価」とあるが、まず係内、課内、で点検されると思う。この教育委員会とあるが、教育委員さんを含めたところでの具体的検討までされて、この自己評価というのが出てきているのか。 ・7月15日の件だと思うが、記載の仕方が悪いのかもしれないが、この教育委員会によるというのは、各課、各係での評価、自己評価となる。教育委員に評価いただいたわけではなく、それぞれの係が昨年度の結果を見直して評価をしている。 昨年の評価に比べ自己評価が、BからAとなった事業が3つあった、「スクールカウンセラー配置事業」、「学校給食事業」、「須古城跡環境整備事業」がBからAに上がっている。この評価は、「十分達成できた。」もしくは、「ある程度達成。」ということで、大変微妙なことだと思う。本当にもう一生懸命やってきたからA、それはそれでいいと思うが、3つの事業で、3年度頑張ったからBからAになったというようなものがあれば、評価のところで説明はいただいたが、これだけは言うておこうというのがあればお聞かせ願いたい。この評価に書いているということであればそれはそれで結構です。 ・「豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進」、スクールカウンセラー配置事業(P10) B評価からA評価とした理由については、この事業は、委嘱者だけであるものではなく、学校教育課に指導主事があり、一緒に協働してやるものである。
---	--

	指導主事が、非常に念密にスクールカウンセラーと打合せ行い、例えば、不登校が減少したという事象の確認は出来てないが、非常に指導主事がきめ細やかに指導をし、説明の通り相談件数に関して非常に増えている。一緒に非常にきめ細やかにスクールカウンセラーと打合せをし、指導助言していただいていることからA判定にしている。また、令和4年度についてもスクールカウンセラーの時間を増やすことができた。そういった令和4年度に対する実績も踏まえてA判定にさせていただいた。 ・「豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進」、学校給食事業(P12) B評価からA評価とした理由については、令和3年度は、白石町の学校給食センターより全国学校給食甲子園に栄養教諭が自発的に地元産の食材を使った献立を立てたメニューで全国大会に申し込みをした。見事に準優勝となり、地元の食材を使った給食、おいしい献立ということで、生徒にも食に関するPR、関心を持つ機会になったと思う。そういった食に関する関心を持つ機会が増えということでA判定とさせていただいた。 ・「郷土文化の保存・伝承と芸術・文化の振興」須古城跡環境整備事業(P21) 本事業が令和2年度からの2か年計画となっており、令和2年度は、中心部北側の伐採を行い4,500㎡を行った。令和3年度に残りの中心部南西部側などの伐採に伴い終了した。見学者にも見やすくなったと好評であること、2か年に係る事業が終了した
--	--

	ということでA判定とさせていただいた。 「確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進」、外国青年語学指導助手設置事業（P8） 昨年もお尋ねしたが、小学校で英語の授業が始まり、多忙となったことで、園への派遣に不安があったが令和3年度も本年度も引続き訪問していただいている。子ども達は非常に楽しんでその時間を過ごしており、異文化に触れるという機会が、なかなかこういう地方では少ないため、是非そういう小さな機会だが続けていただきたい。 ・この事業については、昨年度も御意見いただいた。現在3人いるALTについては、子ども達との交流が大好きで、保育園、幼稚園へ出向きたいという意向も強い。それで検討したところ、学校は長期休業があるが、保育園にはないため、ALTにもそういった時間を活用して、なるべく行くようお願いした。今年度も保育園にお声がけはさせていただいている。 「確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進」、学校教育支援員配置事業（P6） 学校教育支援員配置事業に関して、学校としては非常に感謝をされているのでは思う。子ども達へのきめ細やかな指導には欠かせない事業ではと感じている。ただ、課題として、報酬、期末手当、通勤費用弁償等、個々での計算管理が必要となり、経理を担当する学校教育課の負担がかなり大きくなっている。あまりにも複雑になりすぎて、何か改善策はないか。 ・この令和3年度は47名のスクールアシスタントを配置した。なるべく学校が使いやすい運用をしたことで
--	--

事務が煩雑になっている。それは、令和2年度から会計年度任用職員制度が導入されたためである。これまで単純に勤務時間に時給を乗じて報酬を支払いすればよかったが、例えば年間の勤務日数に応じた年次有給休暇の付与、報酬平均を出したところでの期末手当の計算等々が出てきた。47人配置しているため47通りの計算が出てきている。今後、令和4年度は現行通り行っているが、令和5年度以降は、例えば勤務形態を固定化する等で負担の軽減を図りたいと思っている。ただそれが学校にとって活用しにくならないよう、学校の方とも相談しながら進めていきたいと思っている。

「教職員の資質・学力の向上」、白石町教育研究会補助事業(P13)

事業効果で、「また、白石町教育研究会実践発表会における実践発表の内容は…」とあるが、令和3年度もやはり研究発表会があったのか、令和2年度で終了したのではと記憶している。その辺調べていただき、終了していれば削除するなどしていただきたい。

・確認不足でした。終了しているのではないかとと思われるため、確認し削除すべきと判断した場合は、削除させていただく。

「豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進」、学校給食事業(P12)

課題として「アレルギー対応の対応を図った。」とあるが、課題なので「図った」というのは「図る」とかの表現がいいのではないかな。今のままでは、それを行ったことにな

り、「図るようにする。」とかであれば計画をされるわけで、今後の対応となる。

- ・課題という部分でこの表現はどうかと思われるため、再度確認し、修正したいと思う。

会議冒頭の教育長挨拶でも分かり易い標記、説明ということで、間違ったものが掲載されても駄目なため、もう一度それぞれの事業の確認をいただければと思う。